

(1)

報 廣

市 人 司

第 109 号

昭和45年1月1日

編集発行

南 国 市 広 報 委 員 会

事 務 所

高知県南国市役所内

(電④2111)

印 刷 川北印刷株式会社

(電④3151・有線155-11)



若人のまち

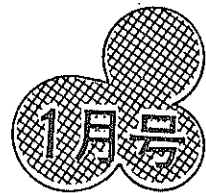
ことし祝福を受ける市内の成人者は

約七百七十人います

これらの若い人たちの住む活気ある
緑と太陽の生産の町をつくらう

成 人 式 へ

気軽に参加し祝福を受けましょう



米を作るのをやめる政策である。ハウス開墾は国の指導でなく、農民が自分で考えてここまで発展させてきた。米作りがぼつとしなければ開墾は益々増えるだろう。また、山々はみかんで一っばいになるかねばよいが、よほど先のことと考えてやらなければ生活がむづかしくなる。小さな例であるが、百姓の運搬を考えると、リヤカーを人が引き、次に耕耘機でリヤカーをひき次はトラクターでトラクターをひいた、今では軽四輪全盛である。◆来年のこと言えば鬼が笑うという、ところが今では来年どころら四、五年先のことを考えていないと、一人前の生活さえむづかしい世の中である。鬼もびっくりしているだろう。



世の中も変れば変わるものである、一昨年米一俵増産運動は昨年はうまい米作りを叫び、今年ば米があまった、困った米年は金を出すから

市のうごき

(11月末現在)

転入	220	転出	204
出生	40	死亡	33
人口	42,684人		
	(男 21,032人)		
	(女 21,684人)		
世帯数	12,120戸		